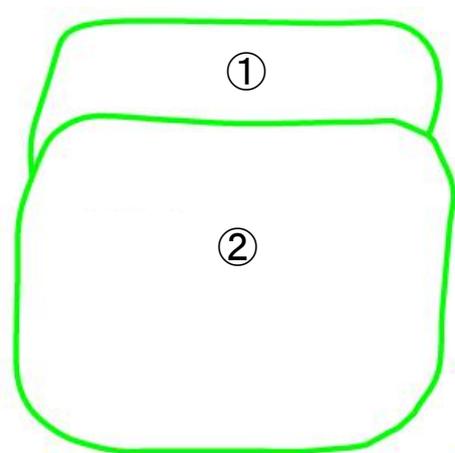


花の木古墳群・花の木遺跡発掘調査だより No.3

◎先行調査も佳境に

5月から先行して調査を行っていた20A区の調査が佳境に入ってきました。続々と成果が得られており、調査も忙しくなっています。今回は現在確認されている弥生時代後期(約2000年前)の竪穴建物跡の一部をご紹介します。竪穴建物跡の位置については裏面をご参照ください。



この竪穴建物跡は20A区の中央で確認された竪穴建物跡になります(114SI・119SI)。右図のように2棟が重なって確認されました。①の竪穴建物跡が廃棄された後に②の竪穴建物跡が建てられたようです。竪穴建物跡からは弥生土器が出土しており、2棟とも弥生時代のものと考えています。



こちらの竪穴建物跡は20A区で確認された中で一番大きなものとなっています(110SI)。

また、この竪穴建物跡は西側に拡張を行っていました。このように竪穴建物の拡張は弥生時代では頻繁に行われていました。

◎20A 区について

先行調査を行っている 20A 区は、調査面積が 600 m²ほどで調査区全体の 1/10 ほどとなっています。谷へ落ち込んでいく斜面地でありながら竪穴建物跡が 8 棟、土坑が 20 基以上確認されており、非常に良好な出土状況といえます。この遺構の多くが弥生時代のものと考えられ、遺構の中からは弥生土器が多数出土しています。斜面地でこれだけの遺構が確認されていますので本体の 20B 区ではどのような成果が出るのでしょうか。今後の調査が楽しみです。

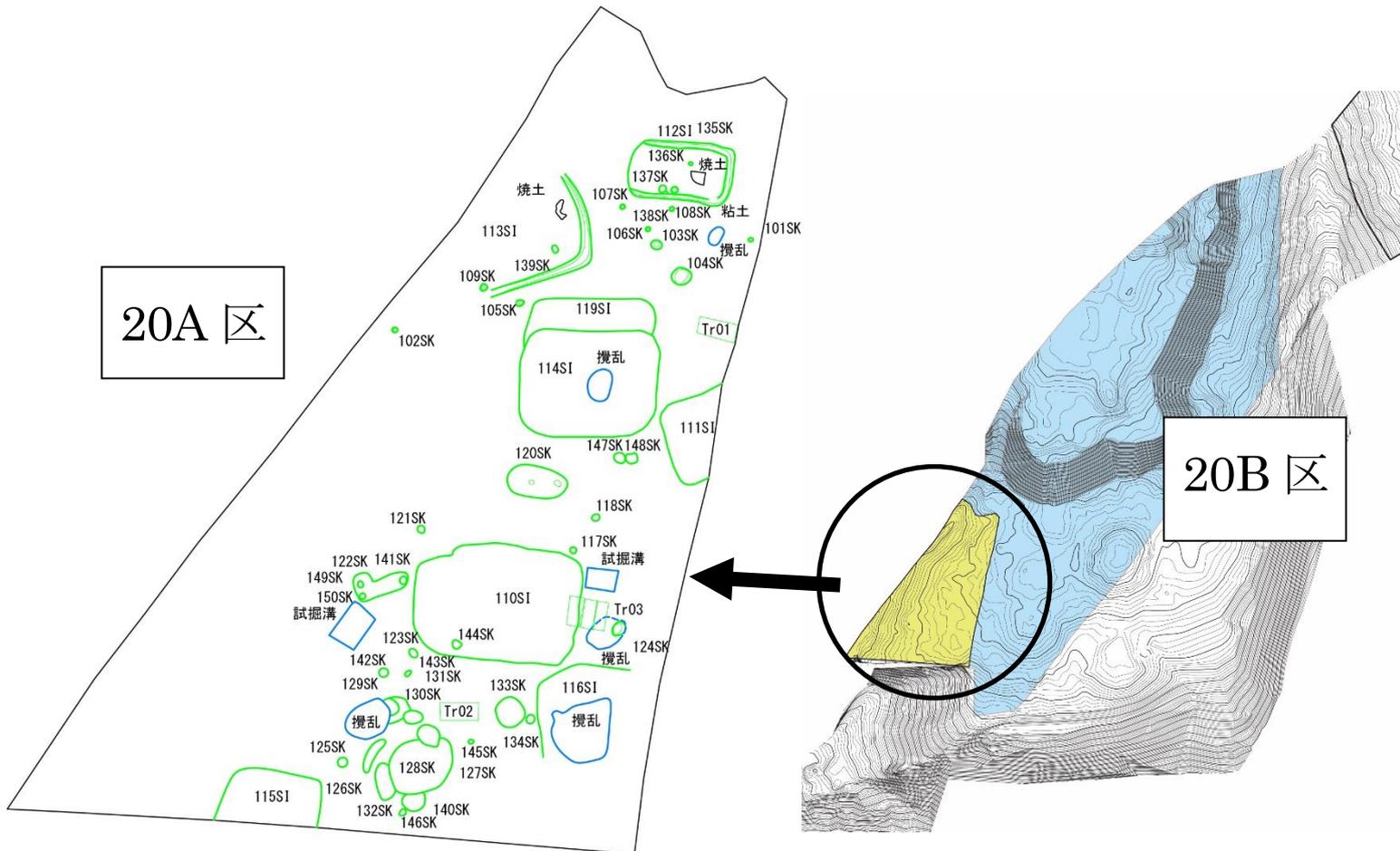


図 調査区の全体図(右)と 20A 区(左) SI は竪穴建物跡、SK は土坑(穴) を表します

次号は現在調査している 20A 区の総集編となります。今回掲載できなかった成果をたっぷりご紹介しますのでご期待ください。

～～～～～ 発掘調査だより No.3 ～～～～～

委託者：愛知県埋蔵文化財センター TEL：0567-67-4163 (担当：早野、社本)

受託者：安西工業株式会社

名古屋支店 TEL：052-769-6500

現場代理人 TEL：090-3704-3565 (中谷)

